



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社マーベラス  
コード番号 7844 URL <https://corp.marv.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 澄宣  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 野口 千博 E-mail [ir@marv.jp](mailto:ir@marv.jp)  
四半期報告書提出予定日 2023年8月2日  
配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,883	29.4	531	△31.9	886	△21.7	609	△19.0
2023年3月期第1四半期	5,319	△17.8	780	△46.7	1,132	△23.2	752	△30.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,033百万円 (△13.1%) 2023年3月期第1四半期 1,189百万円 (6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 10.08	円 銭 -
2023年3月期第1四半期	円 銭 12.45	円 銭 -

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年3月期第1四半期	百万円 34,445	百万円 28,253	% 81.9	円 銭 466.54
2023年3月期	百万円 36,447	百万円 29,227	% 80.1	円 銭 482.69

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 28,211百万円 2023年3月期 29,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 33.00	円 銭 33.00
2024年3月期	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -	円 銭 -
2024年3月期（予想）	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 33.00	円 銭 33.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	6.5	3,500	40.7	3,600	22.8	2,520	30.9	41.67

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	62,216,400株	2023年3月期	62,216,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,747,846株	2023年3月期	1,747,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	60,468,554株	2023年3月期1Q	60,387,754株

（注）期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有している375,300株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
(第1四半期連結累計期間) .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるエンターテインメント業界は、国内家庭用ゲーム市場においては、部品不足の解消によるゲーム機本体の供給の安定と、大型人気タイトルの発売により、ハード・ソフトともに前年の市場規模を大きく上回り、好調に推移いたしました。モバイルゲーム市場においては、市場の成長が踊り場を迎える中、新規タイトル、既存タイトルともに厳しい競争環境が続きました。国内アミューズメント市場においては、プライズ(景品)ゲームが好調に推移し、コロナ禍前の水準へ市場規模を押し上げました。音楽映像市場においては、パッケージ市場の縮小傾向が続く中、動画配信市場は巣ごもり需要の反動により競争が激化しつつも、緩やかな成長が継続しました。ライブエンターテインメント市場においては、新型コロナウイルス感染症の5類への移行等の規制緩和により観客動員が改善傾向にありますが、以前の水準への回復には時間を要している状況です。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPの確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)の経営成績は、売上高6,883百万円(前年同期比29.4%増)、営業利益531百万円(前年同期比31.9%減)、経常利益886百万円(前年同期比21.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益609百万円(前年同期比19.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①デジタルコンテンツ事業

当事業のコンシューマ部門においては、完全新作ジュブナイルRPG『LOOP8(ループエイト)』を、2023年6月1日に国内・アジアで、同6日に北米・欧州で、同7日にSteam®版を発売いたしました。目標を下回る販売推移となりました。一方、前期に国内で発売した『牧場物語 Welcome! ワンダフルライフ』の北米・欧州・Steam®版を同27日より順次発売し、好調なセールスとなりました。

オンライン部門においては、『剣と魔法のログレス いにしへの女神』や『シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK』といった長期運営タイトルの売上が経年により減少いたしました。一方で、ハードアニバーサリー施策等が好調に推移した、前期リリースの『ドルフィンウェーブ』が補うことで、前年同期に比べ業績改善いたしました。

この結果、当事業の売上高は4,133百万円(前年同期比36.4%増)、セグメント利益は114百万円(前年同期比54.5%減)となりました。

#### ②アミューズメント事業

当事業においては、主力であるキッズアミューズメントマシン『ポケモンメザスタ』において「ダブルチェイン5弾」を2023年4月20日より稼働を開始し、好調に推移いたしました。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、旅行等の他のレジャーの増加による影響を受け、売上が前年同期比では微減となりました。一方、海外展開中の『ポケモンガオーレ』については、特に台湾で好調が継続しており、その他地域についても堅調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は1,673百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益は640百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

#### ③音楽映像事業

当事業においては、TVアニメ『女神のカフェテラス』を2023年4月から6月まで放送したほか、『ひろがるスカイ!プリキュア』を始めとした、プリキュアシリーズのパッケージ商品化を行いました。

また、「ミュージカル『薄桜鬼 真改』」等のシリーズ作品の新作公演に加え、新規作品として「舞台『吸血鬼 すぐ死ぬ』」の公演を実施し、好評を博しました。

舞台公演及び関連パッケージの販売収入が増加いたしました。舞台公演関連の補助金等の減少や、アニメ制作費の先行投資により、前年同期比で増収減益となりました。

この結果、当事業の売上高は1,076百万円(前年同期比91.4%増)、セグメント利益は201百万円(前年同期比12.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、資産34,445百万円（前連結会計年度末比2,001百万円減）、負債6,192百万円（前連結会計年度末比1,027百万円減）、純資産28,253百万円（前連結会計年度末比974百万円減）となりました。

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の減少等により26,327百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,132百万円減少いたしました。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、無形固定資産の増加等により8,117百万円となり、前連結会計年度末に比べ130百万円増加いたしました。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、未払法人税等の減少等により5,853百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,027百万円減少いたしました。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、繰延税金負債の増加により338百万円となり、前連結会計年度末に比べ0百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益609百万円を計上したものの、前連結会計年度の配当により利益剰余金が減少したことにより28,253百万円となり、前連結会計年度末に比べ974百万円減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月11日発表の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,888	10,450
受取手形、売掛金及び契約資産	3,551	3,958
電子記録債権	212	203
有価証券	400	400
棚卸資産	8,042	8,426
その他	2,365	2,889
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	28,460	26,327
固定資産		
有形固定資産	525	437
無形固定資産	1,001	1,156
投資その他の資産		
投資有価証券	4,183	4,242
繰延税金資産	2,139	2,141
その他	218	222
貸倒引当金	△81	△82
投資その他の資産合計	6,460	6,523
固定資産合計	7,986	8,117
資産合計	36,447	34,445
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,644	1,186
短期借入金	160	160
未払金	1,289	1,109
未払印税	984	1,120
未払法人税等	1,122	273
引当金	427	120
その他	1,252	1,884
流動負債合計	6,880	5,853
固定負債		
長期未払金	114	114
株式給付引当金	58	58
役員株式給付引当金	94	94
資産除去債務	71	71
繰延税金負債	0	0
固定負債合計	338	338
負債合計	7,219	6,192
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,611	3,611
資本剰余金	8,744	8,744
利益剰余金	17,989	16,591
自己株式	△1,830	△1,830
株主資本合計	28,515	27,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△84	△88
為替換算調整勘定	756	1,182
その他の包括利益累計額合計	671	1,093
非支配株主持分	39	41
純資産合計	29,227	28,253
負債純資産合計	36,447	34,445

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,319	6,883
売上原価	2,493	3,990
売上総利益	2,825	2,892
販売費及び一般管理費	2,045	2,360
営業利益	780	531
営業外収益		
受取利息	18	69
為替差益	388	288
その他	2	2
営業外収益合計	408	360
営業外費用		
支払利息	0	4
貸倒引当金繰入額	55	0
その他	0	0
営業外費用合計	55	5
経常利益	1,132	886
特別損失		
固定資産売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	1,132	886
法人税等	383	274
四半期純利益	749	611
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	752	609
非支配株主に帰属する四半期純利益	△3	2
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△3
為替換算調整勘定	446	425
その他の包括利益合計	440	421
四半期包括利益	1,189	1,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,193	1,031
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	2

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	デジタルコン テンツ事業	アミューズメ ント事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,030	1,726	562	5,319	—	5,319
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,030	1,726	562	5,319	—	5,319
セグメント利益	252	702	229	1,185	△405	780

(注) 1 セグメント利益の調整額△405百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	デジタルコン テンツ事業	アミューズメ ント事業	音楽映像事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,133	1,673	1,076	6,883	—	6,883
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,133	1,673	1,076	6,883	—	6,883
セグメント利益	114	640	201	957	△425	531

(注) 1 セグメント利益の調整額△425百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。